

## 「振袖着付」部門／出場規定

### (A) 大会概要

- (1) 日 時 2019年 10月 8日(火) 選手受付時間 午前 10:00 【※1】
- (2) 会 場 国際文化理容美容専門学校国分寺校 (JR・私鉄「国分寺駅」徒歩 2分) 【※2】
- (3) 当日の ▶ 10:00 ~ 10:30 受付およびモデル・衣裳の抽選 【※3】  
タイムテーブル ▶ 10:30 ~ 10:50 出場選手への諸注意、競技説明、その他  
(予定) ▶ 10:20 ~ 12:00 ① 競技準備 (約 90分/競技のための準備を行う) 【※4】  
▶ 12:30 ~ 13:30 ② 競技 (1)-1 (ヘア・メイク 60分)  
▶ 13:40 ~ 14:00 ③ 競技 (1)-2 (補整~長襦袢着付 20分)  
▶ 14:30 ~ ④ 競技 (2) (着付・帯結び 20分) + 審査・ウォーキング  
▶ 15:30 ~ 写真撮影 【※5】  
▶ 17:00 ~ 17:30 結果発表および表彰式
- 【※1】 受付時間および当日のタイムテーブルは、多少変更となる場合があります
- 【※2】 会場地図は別途添付
- 【※3】 モデル・衣裳は受付時の抽選で決定する。なお、選手、モデルには主催者側にて軽食・飲み物を用意
- 【※4】 モデル・衣裳の確認。着付・ヘア・メイクのための下準備 (補整具、長襦袢の衿縫い、小物・用具類の準備、オリジナルセット、スキンケアなど)
- 【※5】 審査終了後、別会場にて、写真撮影を行う

### (B) 申込規定

- (1) 出場料 35,000 円
- (2) 出場券 出場料の入金確認次第、送付 【※6】
- (3) 出場資格 ● 不問  
(ヘアメイク [1名] の同伴可。但し、ヘアメイクについての補正事項を遵守すること) 【※7】
- (4) その他 ● 年齢制限なし。性別、国籍は問わない  
● 原則として、出場料の払い戻しは行わない
- 【※6】 出場券は当日必ず持参のこと。紛失・破損した場合はすみやかに申し出て下さい。なお、名前、所属の表記に誤りや不備がある場合は、出場券を再発行するのでお知らせ下さい
- 【※7】 ヘアメイク同伴の選手は、ヘア・メイク競技中は所定の場所で待機すること

### (C) 競技概要

- (1) 課 題 ヘア・メイクを伴う中振袖のお仕度 【※8】
- (2) 審査項目 ● モデルの個性を生かし、モデルに似合った装いであること  
● 動きやすく、着くずれしにくい着付・帯結びであること  
● トータルでバランスのとれた装いであること  
● 技術者としてのマナー
- (3) 競技時間 ① 競技準備: 約 90分 (衣裳、モデルの確認。競技のための準備を行う)  
② 競技 (1): 80分 (ヘア・メイク 60分、補整~長襦袢まで 20分)  
③ 競技 (2): 20分 (着付・帯結び)
- (4) 主催者が 用意する物 ● モデル (身長 163cm 前後、標準体型、年齢 20代、髪はアップスタイル可能な長さ) 【※9】  
● 振袖衣裳一式 【※10】  
○ 中振袖 (伊達衿一枚つき)  
○ 帯 (六通袋帯) ○ 帯揚げ (絞り) ○ 帯メ (丸組)  
○ 長襦袢 (関西式棒衿仕立て [衿巾 5.5cm] に半衿 [白] つき) 【※11】  
○ 草履  
● 和装用の肌着・裾よけ [ワンピース型]  
● 足袋  
● 敷物 (120cm × 180cm)
- 【※8】 成人式、謝恩会、パーティなどに出席する装い
- 【※9】 受付時の抽選で決定
- 【※10】 モデルと衣裳はセットただし、伊達衿、帯揚げ、帯メは各自用意したものに替えてもよい
- 【※11】 長襦袢の衿は、衿縫いの必要はないが、一旦ほどいて衿芯を入れてもよい。衿芯 (衿紙) の種類、入れ方は自由。衿芯および衿紙用の奉書紙 (大・小) の当日購入も可能
- (5) 出場選手が 用意する物 ● 出場券 (ゼッケン引換証)  
● 着付に使用する小物・用具類 (腰紐、仮紐・ゴム紐類、伊達メ、帯枕、帯板、補整用品 [タオル、コットン、ガーゼなど]、衿の中に入れる衿芯 [奉書紙や既製の衿芯など]、クリップ、針と糸など) 【※12】  
● ヘア・メイクに使用する小物・用具類 (化粧品、ヘア・メイク用の鏡、ヘアスタイリング剤、ホットカーラー、コーム、ブラシ、すき毛、つけ毛、ヘアピン類、ゴムなど) 【※12】  
● ヘアアクセサリー 【※12】  
● ヘア・メイク時に使用するクロス、着付前にモデルが着用するガウンまたは浴衣・帯など  
※使用する用具、道具については、「(D) 競技規定」に記載の、使用を禁止する用具、道具類以外は、基本的に制約はなく、自由とする
- 【※12】 不足品 (ヘアスタイリング剤、化粧品、ヘア小物、着付小物、ヘアアクセサリー等) があれば、競技準備中に、会場内の出店コマにて購入可能

## (D) 「振袖着付」部門／競技規定

- (1) 競技全体
- ① 当日は、主催スタッフの指示に従うこと
  - ② スタッフの指示、諸注意を守らない場合、他の技術者に迷惑となる行為がある場合は、退場させることもある
  - ③ 競技に不必要な私語は禁止する
  - ④ 選手以外の競技控入室への入室を禁止する ※ヘアメイクは別紙参照
  - ⑤ 競技時間の超過、競技終了後の修正は、減点の対象とする
  - ⑥ 競技準備中、長襦袢や着物をモデルに着せてみても構わない（時間があれば着付、ヘアの練習をしてもよい）
  - ⑦ 不足品（ヘアスタイリング剤、化粧品、ヘア小物、着付小物、ヘアアクセサリ等）があれば、競技準備中に、会場内の出店コマにて購入可能
  - ⑧ 競技において、モデルの手を借りることは、原則として禁止。モデルをお客さまと想定し、営業でお客さまにさせないことをモデルにさせないこと（例／モデルにメイクをさせる、着付に使う紐や小物をもたせるなど）
  - ⑨ 選手同伴のヘアメイクは、ヘア・メイクに関することのみ行える

(2) 競技内容

### 【ヘア・メイク】

#### ▼使用を禁止する用具、道具類

- ① ヘアドライヤーの使用は不可（ホットカーラー、ヘアアイロン等は使用可）※控室には各選手に電源を1つ用意
- ② カラーズプレー、ラメ入りスプレーなど（色のつくもの）の使用は不可（ヘアスプレーは使用可）
- ③ かつら、半がつら、既製の髷・シニヨンなど、既製品の使用は不可（補助的なつけ毛は使用可）

#### ▼注意事項

- ① ヘアスタイル、ヘアアクセサリは自由。つけ毛は補助的なものとし、完成品は使用しない
- ② ヘアアクセサリは選手が用意すること（主催者側では用意していない）
- ③ 上記に禁止した以外のヘアスタイリング剤等の使用は自由
- ④ ヘアスタイリングのための下準備（コンディションを整える、ホットカーラーを巻く等）は競技準備中に行うこと。  
ただし、事前のブロッキングは禁止
- ⑤ 化粧品、道具類は自由
- ⑥ 肌のコンディションを整えるためのスキンケア（化粧水、乳液など）は競技準備中に行ってもよい
- ⑦ 競技(2)でのヘア・メイクは不可

### 【着付】

#### ▼使用を禁止または指定する用具、道具類

- ① 着物、帯結び、帯回りの装飾品の使用は不可（着物のアクセサリ、帯飾り、帯留など）
- ② 抽選で決定した衣裳（中振袖【伊達衿一枚つき】、六通袋帯、草履）を使用すること
- ③ 伊達衿を各自用意したものに取り替えてもよい。但し、伊達衿の使用は一枚のみとする
- ④ 肌着・裾よけ、足袋、長襦袢は、主催者が用意したものを使用すること
- ⑤ 既製の台衿、巡礼衿などの使用は不可
- ⑥ アイロンの使用は不可

#### ▼補整について

- ① 補整方法は自由。補整の種類（タオル、コットン、ガーゼ等）や数量に制限はなく、また、してもしなくてもよい
- ② 補整具の準備は、競技準備中に行ってもよい。ただし競技(1)開始時点で、モデルに補整がしてあってはいけない
- ③ 市販、既製の補整具の使用可

#### ▼長襦袢について

- ① 長襦袢は主催者が用意したもの（関西式棒衿仕立て【衿巾5.5cm】に半衿【白】つき）を使用する
- ② 長襦袢の衿は、衿綴じの必要はなく、衿先から衿芯（プラスチックの衿芯、奉書紙など）を差し込むことが可能。  
競技準備中に三つ襟部分を一旦ほどいて衿芯（衿紙）を入れてもよい
- ③ 既製の台衿、巡礼衿などの使用は不可（使用する衿芯の種類や入れ方は自由）
- ④ 衿の中に入れる衿芯（衿紙）は自由。衿芯や衿紙用の奉書紙（大・小）の当日購入も可能
- ⑤ 長襦袢に紐を付けてはいけない（長襦袢に紐を直接縫い付ける、紐を通す輪を縫い付けるなど）

## (D) 「振袖着付」部門／競技規定

- (2) 競技内容 (つづき) ▼帯・帯小物について
- ① 抽選で決定した帯を使用すること
  - ② 帯揚げの使用は一枚のみ。主催者側で帯揚げ（絞り）一枚を用意するが、各自用意したものに替えてもよい
  - ③ 帯メの使用は一本のみ。主催者側で帯メ（丸組）を用意するが、各自用意したもの（丸組、平打、丸ぐけのいずれも可）に替えてもよい
  - ④ 帯結びは自由。なお、帯のテ先、タレ先には、競技準備中にヒダをとっておいてもよい。ただし、帯結び全体をあらかじめ形作っておいてはいけない
  - ⑤ 帯揚げ、帯メの結び方は自由。ただし、帯飾り、帯留めなどの装飾品をつけてはいけない
- ▼着付に使用する紐、道具類
- ① 紐、道具類の種類、使用数に制限はない。きものベルト（コーリンベルト）、マジックベルトなどの使用も自由
  - ② 衣裳を傷めるような紐、道具類の使用は不可
  - ③ 着付や帯結びで、仮紐や三重ゴム紐（四重、五重ゴム紐）を使用してもよい
  - ④ 使用する腰紐や伊達メなどの色の指定はない（白でなくてもよい）
- (3) モデル ▼モデルについて
- ① モデルは主催者側で用意し、当日の抽選で決定する
  - ② モデルは、主催者側で事前にオーディションを行い、選出（身長、体型、髪長さ、肌状態、姿勢、その他チェック済み）
  - ③ モデルには、化粧品による「かぶれ」「アレルギー」の経験がないことを確認済み。また、大会当日の肌状態、健康状態には十分気をつけるよう伝えてあります
  - ④ 髪は、アップスタイル可能な長さ。なお、モデルには、選手が髪をまとめやすいように、当日の朝のシャンプーは控え、前日夜にシャンプーするよう伝えてあります
  - ⑤ モデルの了承なしに、眉を剃ったりカットしない（モデルの了承を得て、眉の形を整える程度にカットするのは可）
  - ⑥ モデルの襟足をレーザーや安全カミソリ等の刃物を使用して剃ってはいけない。襟足の処理は、事前に主催者側でチェックしていますが、気になる場合は、担当スタッフに申し出るか、モデルの了承を得て、電気シェーバー等で整えて下さい
  - ⑦ モデルの肌着、裾よけ、足袋は主催者が用意
  - ⑧ ヘア・メイク時に使用するクロス、着付前にモデルが着用するガウン（または浴衣）を忘れずにご持参下さい。下着姿でのフロア移動はできません
  - ⑨ モデルがステージ上で着用する布製のクロス（肩から足首までが隠れる長さのもの）は主催者が用意。ただし、控室では使用できません
- (4) 服装 ▼当日の服装について
- ① 服装は自由（着物も可）ですが、礼装のお仕度をする事、技術者であること、ステージ上で競技を行うことを考慮し、その場にふさわしい装いを心がけて下さい。カジュアルな服装や、作業上好ましくないミニスカート、短パン、Gパン、素足での作業は控えて下さい
  - ② 靴は着脱しやすいタイプをご用意下さい（ブーツ、スニーカーなど着脱しにくいもの、またカジュアルなサンダルなどは不可）。室内用の選手用スリッパは、主催者側で用意します
- (5) その他 ▼その他
- ① 競技に使用する荷物は、できるだけ当日ご持参下さい。諸事情により、事前預かりを希望される場合は、武市昌子杯実行委員会までお問合せ下さい
  - ② 主催者が用意した衣裳類については、使用后、主催スタッフの指示に従い、所定の場所に返却して下さい。その際、必ずスタッフのチェックを受けて下さい
  - ③ 競技・審査終了後、写場にて写真撮影を行います（写真は後日郵送します）。詳細は当日、説明しますが、係員の指示に従い、すみやかに行動して下さい

### 【お申込み・お問合せ】

## 国際文化着付技術選手権実行委員会

〒150-0045 東京都渋谷区神泉町 5-3 (学)国際文化学園内

☎ 03-3462-1448 fax03-3770-8745

## 「振袖着付」部門／同伴ヘアメイクについての補足事項

「振袖着付」競技は、美容師以外の着付を勉強している方々にもコンテストに参加していただけるよう、ヘアメイク1名の同伴が可能となっています。と同時に、ヘアメイクを伴わず、ヘア・メイク・着付の全てを一人でこなす選手もいます。

つきましては、いずれの選手にも可能な限り平等な条件で技術を競っていただけるよう、同伴のヘアメイクにつきまして、下記の通り競技規定を補足いたします。

- ① 選手は、ヘアメイク1名に限り、同伴してもよい（事前に申告すること）
- ② ヘアメイク1名が、複数の選手のヘアメイクを兼ねることはできない
- ③ ヘアメイクは、所定の時間（競技準備時間、競技(1)-1 \_\_ヘア・メイク 60 分間）のみ控室に入室し、モデルのヘア・メイクを行なえる
- ④ 競技準備中、控室の競技スペースには、選手もしくはヘアメイクのいずれか1名のみが入ることができる。  
ただし、競技準備開始から10分間だけ、ヘア・メイクの相談のために、競技スペースに選手とヘアメイクの2名が同時に入ることの許可する
- ⑤ ヘアメイクは、ヘア・メイクに関するもののみ行なえる。着付競技に関わること\*を行なってはいけない。  
ただし、ヘア・メイクのために、着物をモデルに着せかけたり、着物を広げてみてもよい
  - ※ 着付競技に関わる小物や用具類の準備、後片づけ
  - ※ 長襦袢や着物の衿綴じ、衿付け、衿芯入れ
  - ※ 着付競技のための準備（着物を着せやすいようにたたむ、帯を胴に廻しやすいようにたたむなど）
- ⑥ 選手は、ヘアメイク同伴の有無に関わらず、競技準備中、もしくは競技(1)-2 \_\_補整・長襦袢 20 分間に、ヘア・メイクに関するものを行ってよい
- ⑦ ヘアメイク同伴の選手は、控室競技(1)\_\_ヘア・メイク 60 分間 は控室に入れない（所定の場所で待機）
- ⑧ 競技(1)-1 \_\_ヘア・メイク 60 分間 の終了後、選手は同伴のヘアメイクを自由に解散してよい
- ⑨ ヘアメイクは、振袖の「舞台競技+審査」終了まで、モデルと接触してはいけない
- ⑩ 観覧を希望するヘアメイクは、競技(1)-1 終了後、受付で「ヘアメイク証」と「観覧券1枚」を交換できる
- ⑪ ヘアメイクも選手と同様に、服装やマナーに注意すること

※裏面の「大会当日の流れと注意事項」もあわせてご参照下さい

「振袖着付」部門  
大会当日の流れ（昨年例）と注意事項

○\_\_控室への入室可  
×\_\_所定の場所で待機  
—\_\_自由行動

会場等	大会当日の流れ		ヘアメイク同伴アリ			注意事項
	時：分	概要	選手A	選手B	ヘアメイク	
選手受付 振袖控室	10：00	受付・抽選 >控室へ >モデルと顔合わせ	○	○	×	選手は 10：00 から受付・抽選を行う  ヘアメイク受付 10：00～11：30
	10：30	諸注意・競技説明	○	○	×	
振袖控室	10：50	競技準備	○	※	※	※競技準備中、控室の競技スペースには、選手もしくはヘアメイクのいずれか 1 名のみが入ることができる。ただし競技準備開始から 10 分間だけ、ヘアメイクの相談のために、選手とヘアメイクの 2 名が同時に競技スペースに入ることができる（10：50～11：00）
振袖控室	12：30	競技(1)-1 (60分) ヘア・メイク	○	×	○	選手Bは、係員の指示に従い、所定の場所で待機。この間、控室に入れないので、事前によくヘアメイクと打合せをしておくこと 競技(1)-1 が終了後、ヘアメイクは自由解散（選手Bの指示に従う） 競技(1)-2 において、選手Aも競技時間が余った場合はヘア・メイクの手直しを行なってもよい
	13：40	競技(1)-2 (20分) 補整・長襦袢	○	○	—	
競技会場	14：30	競技(2) (20分) 着物・帯結び  審査・ウォーキング	○	○	—	観覧を希望するヘアメイクは、受付でヘアメイク証と観覧チケットを交換できる。 審査終了までモデルと接触してはいけない  審査終了後、作品の写真撮影を行う。撮影終了後、モデルの衣裳を脱がせ、衣裳を所定の場所に返却する（仕舞い方賞の審査あり）
競技会場	17：00	表彰式				表彰式終了後、上位入賞者は写真撮影を行う 選手は衣裳の返却・確認が終わった者から順次解散
	17：30	閉会～解散				

※タイムテーブルは多少変更となる可能性があります

【お申込み・お問合せ】

国際文化着付技術選手権実行委員会

〒150-0045 東京都渋谷区神泉町 5-3 (学)国際文化学園内

☎ 03-3462-1448 fax03-3770-8745